

— お互いを理解し共に進むために —

第5回

福岡市舗装技術研修会



写真提供：福岡市舗装協会会員：福岡道路（株）
（都市計画道路アイランド西1号線道路舗装工事）

昨年および一昨年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、開催が中止となっていました福岡市職員の若手技術者を対象にした「舗装技術研修会」が開催されました。今年度で5回目の開催です。

この研修会は道路事業の発注者と受注者双方の共通認識を共有する取り組みとしての活動でもあり、平成28年度から実施されています。福岡市主催で、一般社団法人福岡市舗装協会と前田道路(株)九州支店の協力のもと実施されました。

今回は舗装工事の施工および品質を適切に管理するための各種の現場試験について学びました。

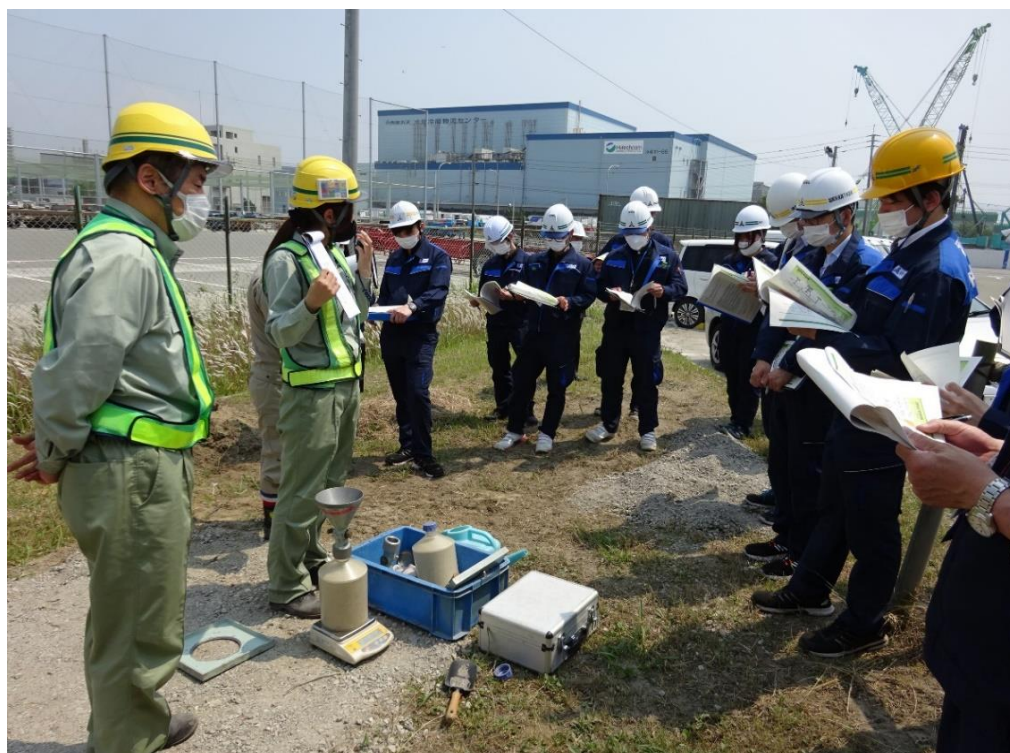
実施日時 令和4年5月25日(水) および26日(木) の13:30～16:00

実施場所 前田道路（株）福岡東合材工場（福岡市東区東浜）

参加者 福岡市職員 57名（1日目：27名 2日目：30名）



(研修) 現場CBR試験・平板載荷試験・簡易支持力試験・平坦性試験・現場密度試験



九建日報
令和4年5月27日掲載

舗装協会と前田道路が協力 福岡市 職員技術力向上へ研修



福岡市は25日と26日の2日間、市職員を対象に、原位置試験に関する技術研修会Ⅱ写真Ⅱを実施した。(一社)福岡市舗装協会と前田道路(株)が

協力し、現場CBR試験や現場密度試験などを実演。若手職員の技術力向上を図った。

東区東浜の同社福岡東合材工場を会場とし

た研修会には、2日間で延べ約60人が参加した。市舗装協会の下川重光技術安全委員長は初日の冒頭、「100人を超す応募があったが、人数に制限があるため、数を絞って参加してもらった。若い職員の皆さんの技術力向上が研修会の目的だ。今後の業務に役立ててほしい」とあいさつした。

参加者は2班に分かれ、同社担当者の説明を聞きながら、現場CBR試験、平板載荷試験、簡易支持力試験、現場密度試験、平坦性試験の模様を見学した。また、これらの原位置試験に用いる器具の取り扱いや、試験結果の記録・整理について指導を受けた。

暑い中、長時間にわたる屋外での研修会だったが、参加者は熱心に説明に耳を傾け、疑問に思ったことを質問していた。下川委員長ら舗装協会メンバーが、市職員に現場での経験を踏まえたアドバイスを送る姿も見られた。一連の試験実演を終えた後には、同社製品の説明も行われた。